

ゴム製造工程におけるトラブル事例とその対策

主催：一般社団法人日本ゴム協会研究部会 成形加工技術研究分科会

協賛：高分子学会、自動車技術会、石油学会、繊維学会、日本化学会、日本機械学会、日本合成樹脂技術協会、
(予定)日本材料学会、日本接着学会、日本トライボロジー学会、日本複合材料学会、
日本分析化学会、プラスチック成形加工学会、マテリアルライフ学会、日本レオロジー学会 (順不同)

今回のシンポジウムでは、混練、熟成、押出、加硫といった製造工程ごとにおける主要なトラブル事例を取り上げ、その原因と対策について解説致します。分散不良、寸法不良や外観不良などの各トラブルに対する最新技術や管理手法を共有することで、製造品質の向上や工程改善を目指す方に有益な内容となっております。ゴム製造の課題解決に取り組むすべての方のご参加をお待ちしております。この分野の第一線でご活躍されている方々に最新技術と課題をご説明いただきます。

日時：2025年2月27日(木) 9:55~16:15

場所：対面(東部ビル5階会議室)とオンライン(Zoomウェビナー)によるハイブリッド開催

受講料：日本ゴム協会会員・協賛団体会員 24,200円 日本ゴム協会学生会員 無料

※受講者が日本ゴム協会の正会員でない場合でも、ご所属が法人としてゴム協会会員(賛助会員)の場合は2名様まで会員扱いの受講料で受け付けます。

シニア制度対象会員 12,100円(60歳以上の正会員) 会員外 33,000円

受講料には消費税・テキスト代を含みます。

定員：会場(東部ビル)：30名

※定員に達し次第、オンライン参加をご案内させていただく可能性がございます。

申込要領：弊会ホームページ(<https://www.srij.or.jp/>)よりお申込みください。

参加者には2月20日(木)以降に当日のご参加用URLを事務局よりお知らせいたします。

テキスト：電子媒体にて配付いたします(開催前に閲覧用PWをお知らせいたします)。テキスト配付に相当いたします閲覧用PW通知後のキャンセルはお受けいたしかねますので、あらかじめご了承ください。

送金方法：開催前日までに、銀行振込にてご納入ください(三井住友銀行 日比谷支店 普通No.7100847

一般社団法人日本ゴム協会)。誠に恐れ入りますが、振込み手数料は貴方でご負担ください。また、一度ご入金された受講料は返金いたしかねますのであらかじめご了承ください。

問合せ先：一般社団法人 日本ゴム協会 第302回ゴム技術シンポジウム係

(〒107-0051 東京都港区元赤坂1-5-26 東部ビル1階

TEL 03(3401)2957 E-mail: kenkyuubukai@srij.or.jp)

	演 題	講 師
09:55~10:00	開会のあいさつ	成形加工技術研究分科会主査 近藤 寛朗
10:00~10:50	「混練り工程でのトラブル」 ゴム練り研究分科会主催のゴム技術シンポジウムで紹介されてきた、混練りのトラブル例とその対策を紹介します。	岡本技術事務所 岡本 浩二 氏
11:00~11:50	「熟成」	(一財)化学物質評価研究機構 近藤 寛朗 氏
13:00~13:50	「押出」 押出加工時の材料、設備、加工技術等から見たトラブル対策を説明させていただきたい。	西澤技術研究所 西澤 仁 氏
14:00~14:50	「加硫工程におけるトラブル要因の解析 ~エア障害 ボイド/プリスタ/ベア~」 ゴム製品の加硫工程における不具合の中から、特にボイド・プリスター・ベアなどエア障害と分類される不具合要因について解説する。	横浜ゴム㈱ 佐藤 有二 氏
15:10~16:00	「ゴム成形の課題や不具合に対する金型での方策」 ゴム金型成形工程における様々な課題や不具合について、要因を明らかにするとともに、	元・豊田合成㈱ 上嶋 桂二 氏

解決に向けての金型での方策について概説する。

16：10～16：15 閉会のあいさつ

成形加工技術研究分科会副主査 佐藤 有二

※プログラムは一部変更になる場合がございます。

☆お申込みはホームページ <http://www.srij.or.jp/>からお願いします。